

**平成26年度 第2回
三重県経営戦略会議
平成26年7月3日**

目 次

(頁)

1. はじめに	1
2. 「暮らす場」としての三重県(基本情報)	2
(1)都市計画 (2)交通網 (3)通勤状況 (4)移住・定住に関する既存の取組例	
3. 地域のブランディング	11
4. 「暮らす場」としての魅力向上に向けて	13
(1)暮らしやすい住環境 (2)日常の買い物 (3)アミューズメント・レジャー (4)安全・安心な暮らし (5)自然の中での子育て (6)周産期医療、保育、高齢者介護の体制 (7)居住とお金 (8)高度外国人材にアピールするために	

1. はじめに

人口の社会減対策の3つの視点＝「学ぶ」「働く」「暮らす」のうち、この議題では、「暮らす」を掘り下げる。

「暮らす」は、「学ぶ」「働く」の基礎となり、それぞれを支える要素である。県民が誇りを持って三重県に住み続けること（流出防止）、様々な魅力によって県内に人を呼び込むこと（帰県・移住促進）の双方の観点から、「暮らす場」としての魅力向上は重要であると考える。

【論点】

人口の社会減対策には、取りも直さず「働く場」の確保が肝心ではあるが、「働く」を支える「暮らす場」の魅力向上について、この議題ではご議論いただきたい。

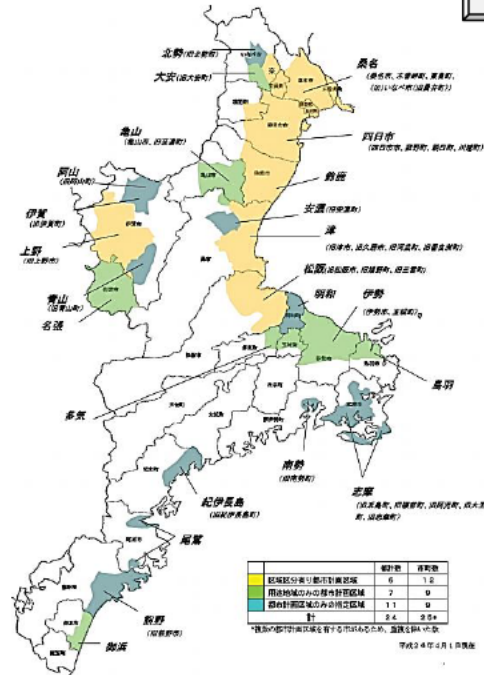
資料では、まず「暮らす場」としての三重県の地理的状況等をお示ししている。その上で、「ブランド」という概念を通じ、暮らす場として「選ばれる」ために三重県はいかにして魅力を向上させるべきかを、委員ならではの見地からご議論いただきたい。

2. 「暮らす場」としての三重県(基本情報)

(1) 都市計画

各都市計画区域における土地利用構想は、2～5頁の図のようになっている。

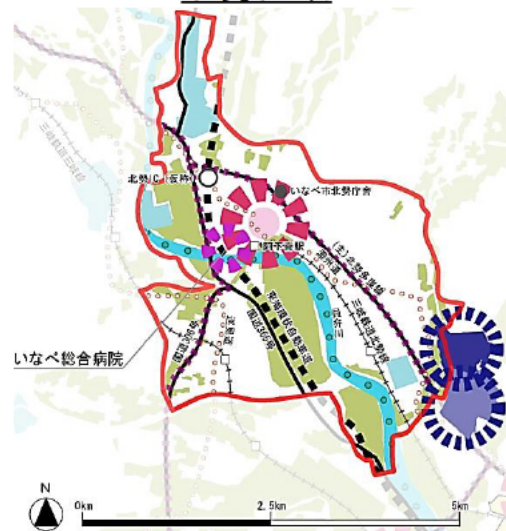
※右下の凡例とあわせて色分けをご覧ください。県内の土地利用のイメージを大まかにご確認いただくための頁です。



桑名区域



北勢区域



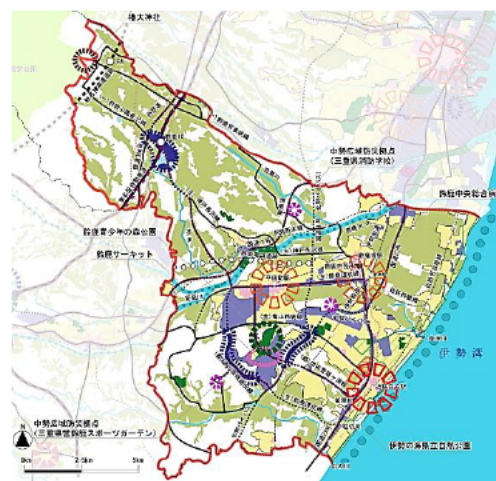
大安区域



四日市区域



鈴鹿区域



凡 例	
行政界	
都市計画区域	
市街化区域界	
広域拠点(集積型)	
広域拠点(維持型)	
地域拠点	
工業系土地利用誘導ゾーン	
集客拠点	
自然交流拠点	
自然交流地区(自然公園：普通地域)	
歴史・文化拠点	
住宅地(住宅系用途地域)	
商業・業務地(商業系用途地域)	
工業地(工業系用途地域)	
工業地(用途地域外における工業系土地利用誘導ゾーン)	
都市計画公園・都市計画緑地	
優良農地(農林農用地)	
高規格幹線道路等	現況
幹線道路	整備予定
緊急輸送道路	現況
鉄道(JR)	
鉄道(私鉄)	
歴史遺構	
緑のネットワーク軸	
河川・海	
土地区画整理(整備予定)	

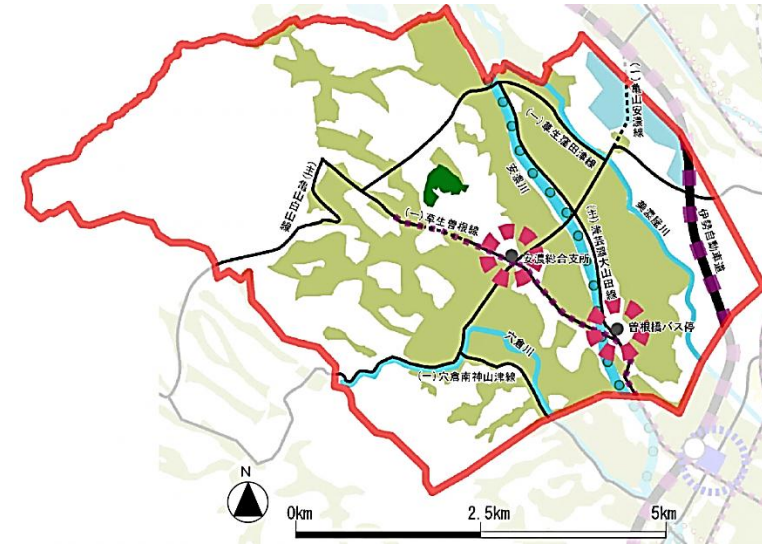
亀山区域



津区域



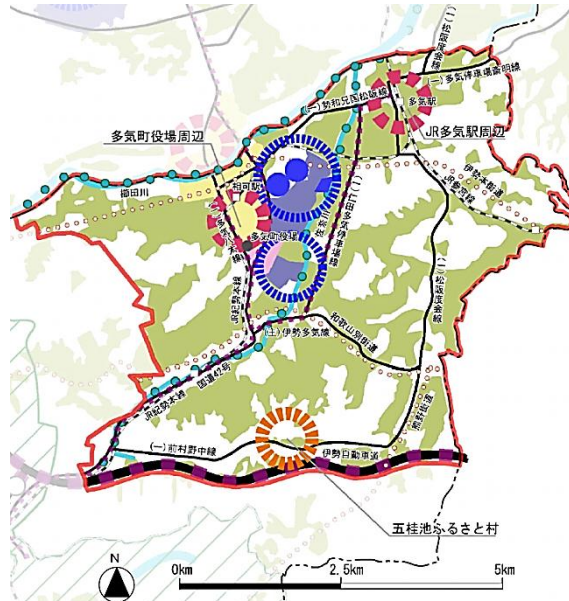
安濃区域



松阪区域



多気区域



明和区域

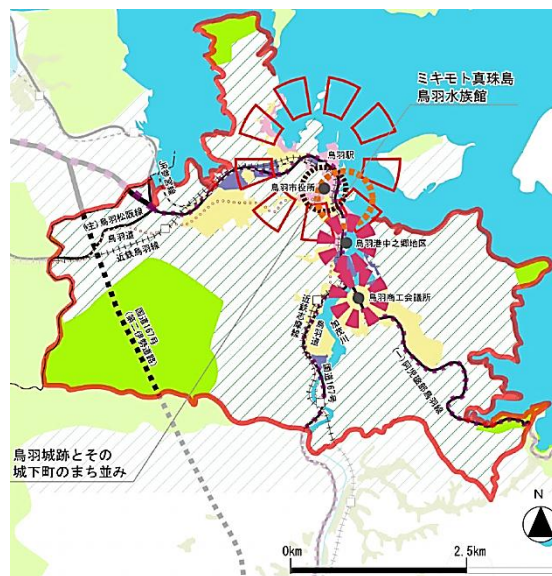


凡 例	
行政界	
都市計画区域	
市街化区域界	
広域拠点(集積型)	
広域拠点(維持型)	
地域拠点	
工業系土地利用誘導ゾーン	
集客拠点	
自然交流拠点	
自然交流地区(自然公園：普通地域)	
歴史・文化拠点	
住宅地(住宅系用途地域)	
商業・業務地(商業系用途地域)	
工業地(工業系用途地域)	
工業地(用途地域外における工業系土地利用構想・計画地)	
都市計画公園・都市計画緑地	
優良農地(農振農用地)	
高規格幹線道路等	現況
	整備予定
幹線道路	現況
	整備予定
緊急輸送道路	
鉄道(JR)	
鉄道(私鉄)	
歴史連携軸	
緑のネットワーク軸	
河川・海	
土地区画整理(整備予定)	

伊勢区域



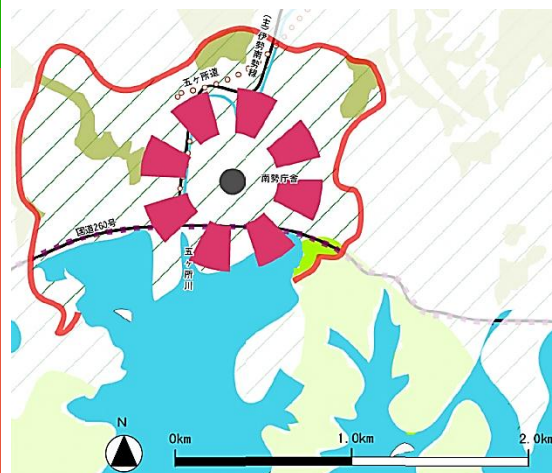
鳥羽区域



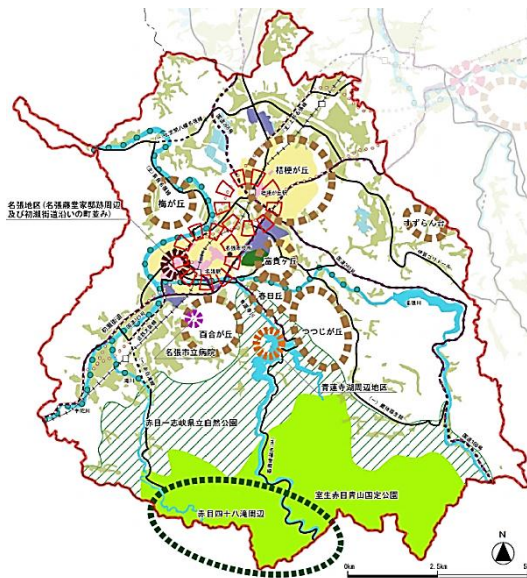
志摩区域



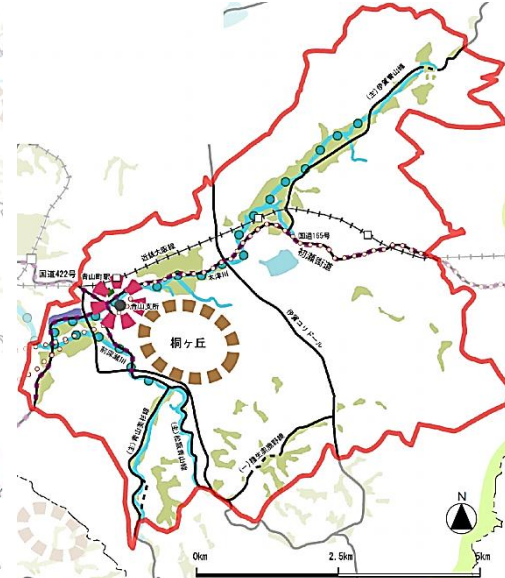
南勢区域



名張区域

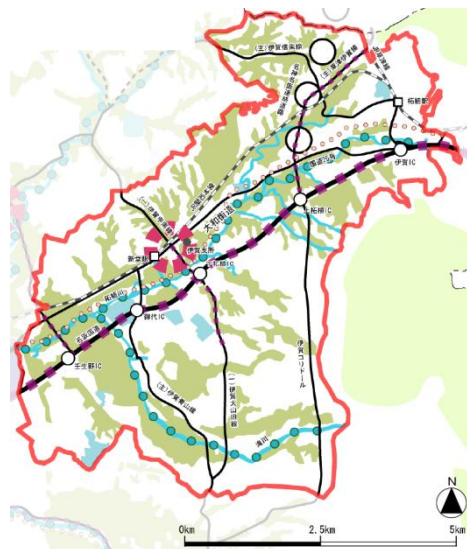


青山区域

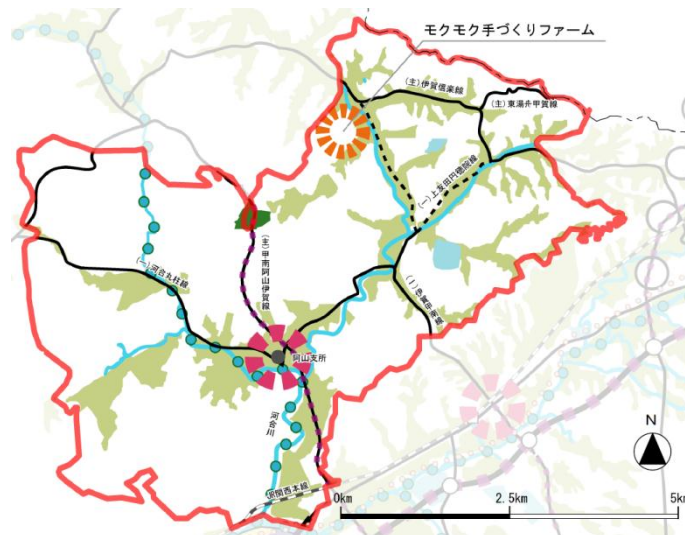


凡 例	
行政区界	—
都市計画区域	—
市街化区域界	—
広域拠点(集積型)	●
広域拠点(維持型)	○
地域拠点	●
工業系土地利用誘導ゾーン	■
集客拠点	●
自然交流拠点	●
自然交流地区(自然公園:普通地域)	■
歴史・文化拠点	●
住宅地(住宅系用途地域)	■
商業・業務地(商業系用途地域)	■
工業地(工業系用途地域)	■
工業地(用途地域外における工業系土地利用誘導・計画地)	■
都市計画公園・都市計画緑地	■
優良農地(農振農用地)	■
高規格幹線道路等	—
整備予定	—
幹線道路	—
整備予定	—
緊急輸送道路	—
鉄道(JR)	—
鉄道(私鉄)	—
歴史遺構軸	—
緑のネットワーク軸	—
河川・海	—
土地区画整理(整備予定)	—

伊賀区域



阿山区域



紀伊長島区域



尾鷲区域



熊野区域



御浜区域



凡 例	
行政界	
都市計画区域	
市街化区域界	
広域拠点(集積型)	
広域拠点(維持型)	
地域拠点	
工業系土地利用誘導ゾーン	
集客拠点	
自然交流拠点	
自然交流地区(自然公園・普通地域)	
歴史・文化拠点	
住宅地(住宅系用途地域)	
商業・業務地(商業系用途地域)	
工業地(工業系用途地域)	
工業地(用途地域外における工業系土地利用構想・計画地)	
都市計画公園・都市計画緑地	
優良農地(農振農用地)	
高規格幹線道路等	現況
幹線道路	整備予定
緊急輸送道路	現況
鉄道(JR)	整備予定
鉄道(私鉄)	
歴史運携軸	
緑のネットワーク軸	
河川・海	
土地地区画整理(整備予定)	

※各区域の「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 計画書」から、「土地利用構想図」を引用。

※上野区域については策定中につき掲載していない。

(2) 交通網

三重県は名古屋、大阪という大都市に近接しており、自動車道や鉄道などの交通網で結ばれている。なお、幹線道路には今後整備予定のものがあリ、リニア中央新幹線の開業も予定されている。

主な自動車道(フェリー航路含む)



自動車によるアクセスと所要時間

車利用のアクセス



※所要時間は目安です。

※図表出典：(公社)三重県観光連盟ウェブサイト「観光三重」[<http://www.kankomie.or.jp/>]

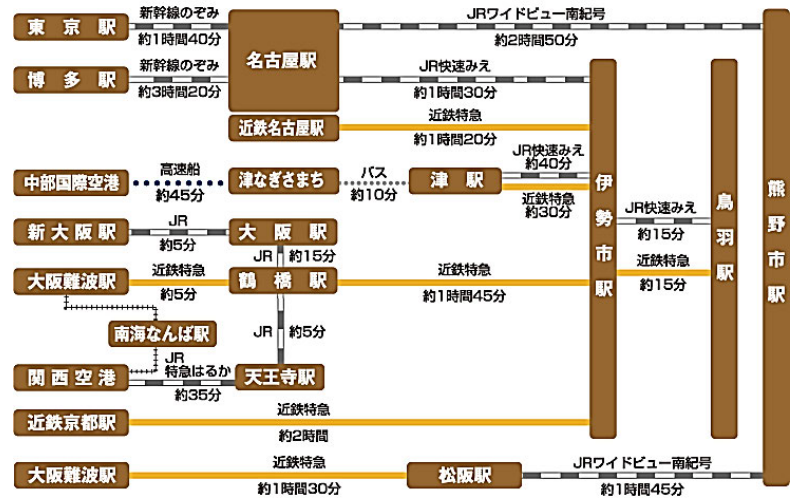
主な鉄道網(フェリー含む)



※図表出典:【左、右上】(公社)三重県観光連盟ウェブサイト「観光三重」
【右下】リニア中央新幹線建設促進期成同盟会ウェブサイト

鉄道等によるアクセスと所要時間

鉄道利用のアクセス



リニア中央新幹線ルート概念図



(2) 交通網〔続き〕

中部国際空港から主な空港への所要時間(イメージ)



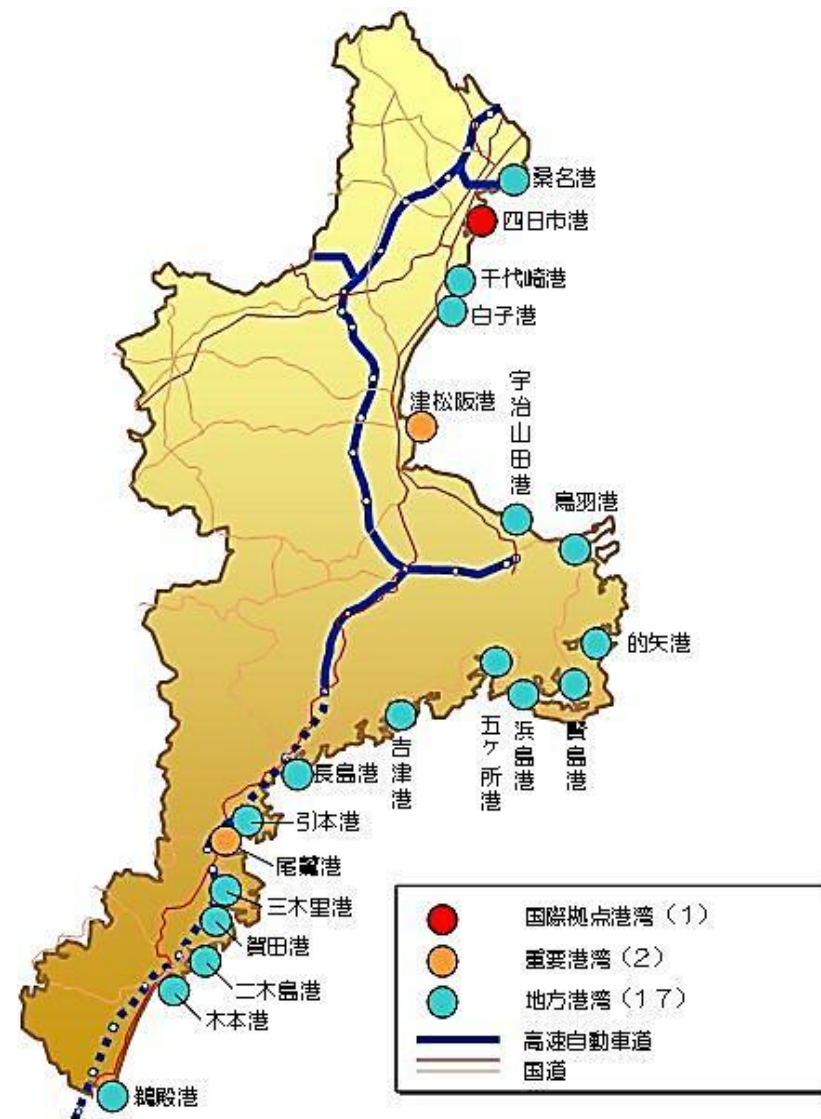
中部国際空港から三重県内へのアクセスと所要時間

飛行機利用のアクセス

..... バス 高速船 私鉄

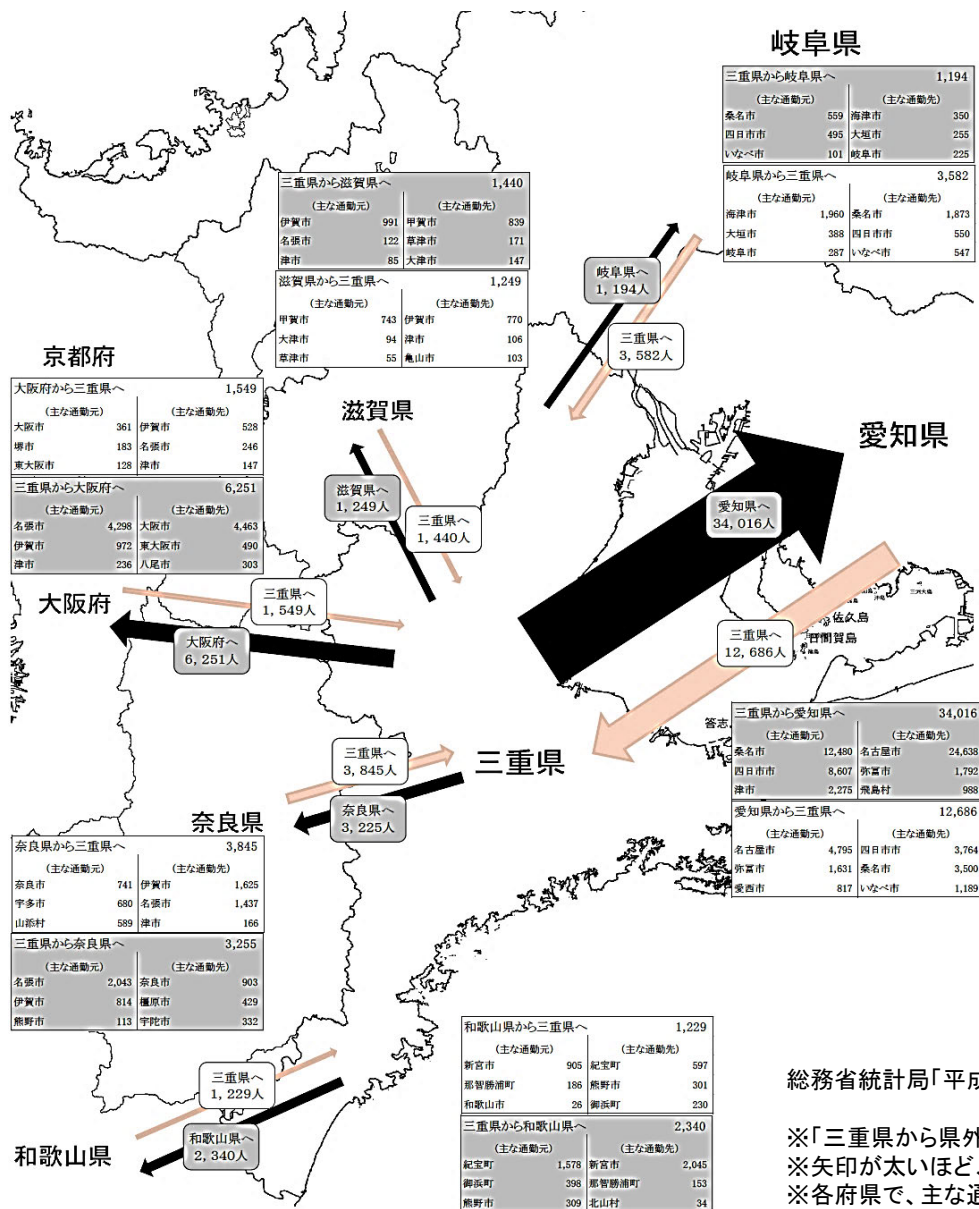


三重県の港湾



(3)通勤状況

通勤者からみる県外との関係図(通勤者数1,000人以上)



三重県内から県外への通勤者数を見ると、**愛知県に通勤する人が最も多く、約34,000人**。
逆に愛知県から三重県への通勤者は約12,700人となっている。
※桑名市内の団地から名古屋市内には、片道約40分の高速バスがある。

また、大阪府にも約6,300人が通勤しており、大阪府から三重県への通勤者は約1,500人となっている。
※名張駅～鶴橋駅は近鉄快速急行で約60分。

その他、

- ・岐阜県へは約1,200人が通勤している一方、その3倍の約3,600人が三重県内へ通勤している。
- ・奈良県とは約3,200人:約3,800人、和歌山県とは約2,300人:約1,200人、滋賀県とは約1,200人:約1,400人の、それぞれ「出:入」の人数となっている。

⇒数多くの人が、県境を越えて就労している。

かつ一方で、有業者の通勤(片道)の平均時間は、男性で43分、女性で32分となっており、職住接近も実現されていると言える。(全国平均＝男性:50分、女性:36分)
※独立行政法人統計センター「地域別統計データベース」(データは2011年のもの)

総務省統計局「平成22年国勢調査」から、三重県戦略企画部統計課作成。

※「三重県から県外への通勤者」及び「県外から三重県への通勤者」が1,000人以上のものについて図示。
※矢印が太いほど、通勤者数が多い。
※各府県で、主な通勤元(住んでいる市町)及び通勤先(働いている市町)を表に記載。

(4) 移住・定住に関する既存の取組例

三重県における移住・定住等につながる既存の取組(例)

名 称	取 組 の 詳 細
三重の移住・交流ポータルサイト 「ええとこやんか三重」	三重県と県内市町が、県内外からの移住・交流希望者に対して、交流居住に関する情報や田舎暮らしの魅力を情報発信するポータルサイト。 (http://www.ijyu.pref.mie.lg.jp/index.php)
南部地域活性化推進協議会 「集落支援・空き家活用部会」 (※4つある部会の内の一つ)	各市町が実施している「空き家調査」や「空き家改修」などのノウハウ等の共有を図り、空き家活用の具体的な方策について検討を進める。 ※いわゆる「空き家バンク」の取組は、いなべ市、東員町、亀山市、津市、大台町、志摩市、南伊勢町、大紀町、紀北町、熊野市、紀宝町で行われている。(平成26年6月現在、「ええとこやんか三重」掲載情報)
同上「移住・交流部会」	三大都市圏で行う「移住相談会」等において発信する情報について検討・協議する。 ⇒「岐阜と三重の合同移住相談会」(於：名古屋)、「紀伊半島移住セミナー」(同)、「ええとこやんか三重移住相談会」(於：大阪)、「首都圏営業拠点三重テラスを活用した移住相談会」(於：東京)の開催など。
紀南農業・農村担い手対策事業	柑橘農家の担い手を確保するため、「三重南紀元気なみかんの里創生プロジェクト協議会」が実施する就業希望者向けの基盤整備や情報発信等に対し支援を行う。 対象：定住促進に向けた基盤整備(研修用の住居の整備等)など。 ⇒H25年度には短期研修者を1名受入(長期研修に移行)、整備した空き家に入居。
田舎暮らし体験事業	地域への移住を促進するため、熊野市・大紀町・紀北町が実施する田舎暮らし体験ツアーに対して支援を行う。(PRチラシの作成、ツアーの実施)
出逢い・結婚支援事業	少子化対策や定住促進の観点から、市町等が実施する事業に対し支援等を行う。 ⇒H25年度の実績：紀宝町、大台町、鳥羽市、玉城町、熊野市、南伊勢町における婚活パーティー等。 ⇒今年度は、南伊勢町、玉城町、大台町、熊野市、紀宝町、尾鷲市、紀北町を支援する予定。

3. 地域のブランディング

人口の流出を防ぎ、呼び込むこととは、すなわち「選ばれる」ことである。三重県が「選ばれる」ための戦略として、“ブランド”について考えたい。

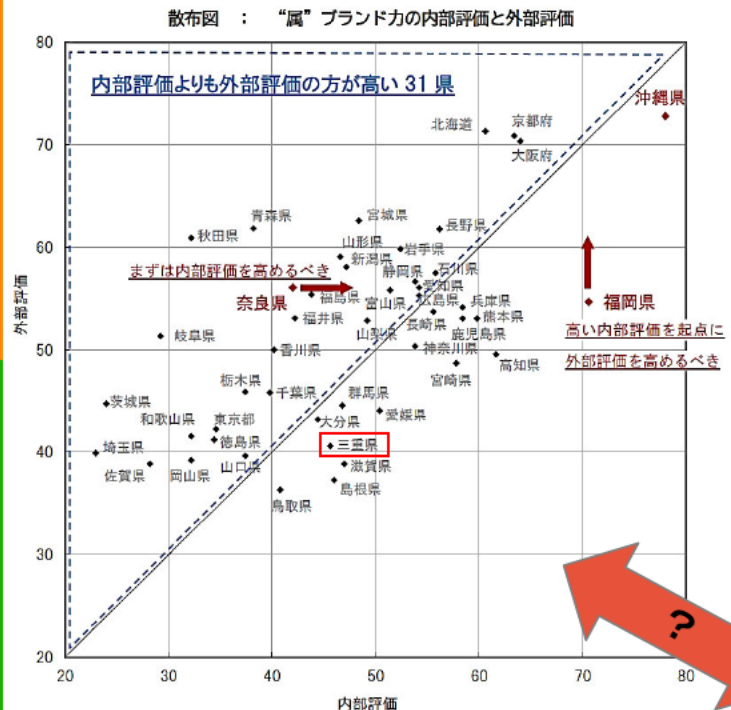
地域のブランディング、すなわち「地域」そのもののブランド化によって、県民が「ふるさと」三重に誇りを持って暮らしつつ、県外の人々が惹きつけられる…そんな三重県にすることができるのではないかな。

「地域ブランドとは、その地域が独自に持つ歴史や文化、自然、産業、生活、人のコミュニティといった地域資産を、体験の「場」を通じて、精神的な価値へと結びつけることで、「買いたい」「訪れたい」「交流したい」「**住みたい**」を誘発するまちと定義できる。地域ブランドの構築とは、こうした地域の有形無形の資産を人々の精神的な価値へと結びつけることであり、それによって地域の活性化を図ることである。人々は、地域資産としての歴史や文化、まち並み、自然、人との相互関係によって価値を見出す。ブランド力の強い地域ほど、それらの地域資産の連想は、バラバラではなく、全体としての統一感や世界観を持っている。」

〔※引用：『地域ブランド・マネジメント』（電通abic project編）〕

地域そのものをブランド化し、「三重で暮らしたい」と思ってもらえるような持続的関係を築くため、三重のアイデンティティを生かしながら、どのように「暮らす場」としての魅力を高めていくべきか。例えば次章の項目について、ご意見をいただきたい。

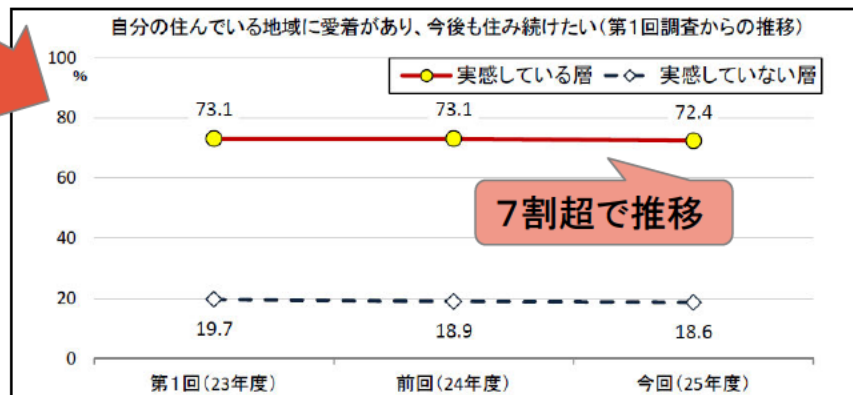
民間による都道府県ブランド力調査結果



※引用：「第3回みえ県民意識調査報告書」

博報堂ブランドデザインの行った「“属”ブランド力調査」は、「自分の都道府県には、自分の都道府県を愛している人が多いと思うか」など5つの視点からの質問に対し、それぞれ「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した者の割合の平均値を算出。都道府県内(内部)と都道府県外(外部)の評価をそれぞれ集計したところ、左の散布図のようになったとしている。
三重県の場合、内部評価、外部評価ともに低いという結果になっている。

一方、三重県が実施している「みえ県民意識調査」の結果によると、「自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい」と感じるかどうかを尋ねた質問に対し、「感じる」「やや感じる」と回答した人(=実感している層)の割合が、**県全体で7割を超えている。**



ブランド総合研究所が行う「地域ブランド調査」(2013年)によると、「市区町村の魅力度ランキング」で伊勢市が28位、志摩市が47位にそれぞれ入っている。一方、同調査の「都道府県の魅力度ランキング」では、**三重県は47都道府県中31位にとどまっている。**

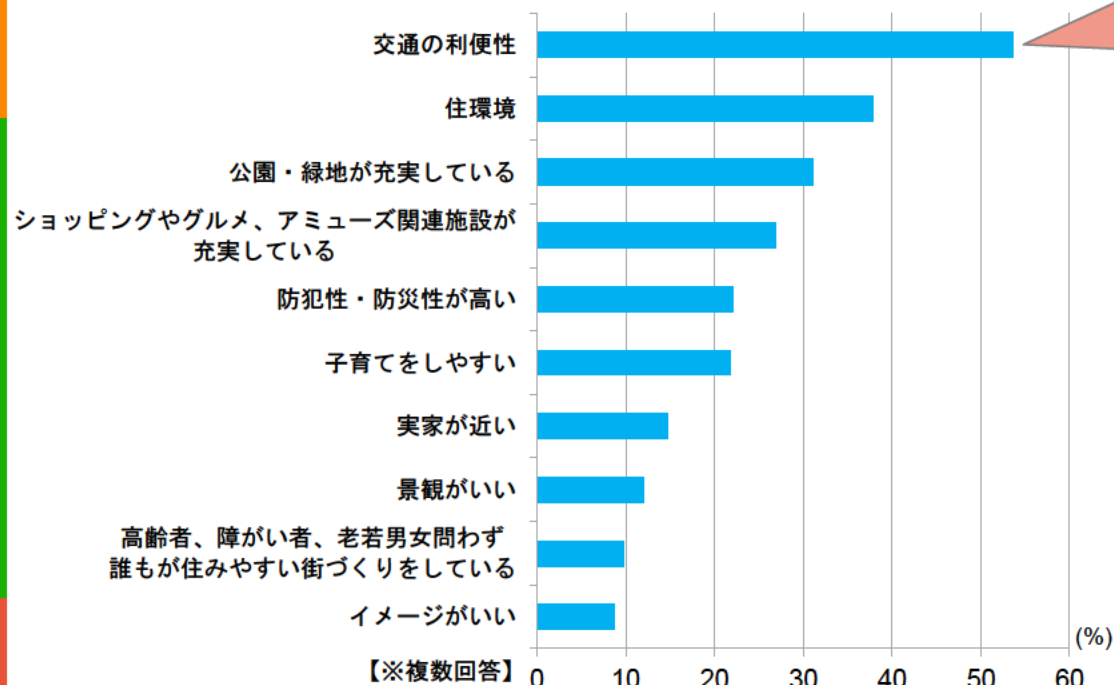
一見すると相反するように感じられる2つの調査結果からは、「住んでいる場所への愛着はあるが、漠然と『三重県』に愛着を感じているわけではない」という県民意識が推察される。また、「伊勢神宮」、「鈴鹿サーキット」、「松阪牛」、「熊野古道」など、一つひとつの要素には魅力を感じてくれているはずの県外の人々も、「三重県」と言われると特に良いイメージが連想されないのでは、とも考えられる。

⇒「三重県」をブランディングし、「暮らす場」の魅力を高めるために、努力の余地は大いにある。

4. 「暮らす場」としての魅力向上に向けて

居住地を選択する際、判断材料となる「魅力」はどのようなものか？
民間企業などの調査結果からは、利便性や環境など様々なニーズがうかがえる。

居住地の魅力に関する調査の一例



「交通の利便性」の捉え方については、マイカー社会である点で大都市圏とは事情が異なるが、名古屋・大阪をはじめ、各大都市圏へのアクセスの良さは、6～9ページからご確認いただけるとおりである。

また、対象を働く女性に限定して行った調査では、居住地選択で重視される項目は以下のようにになっている。

シングル女性世帯	%	子どものいない共働き世帯	%	子どものいる共働き世帯	%
駅への近さ	71	駅への近さ	53	価格・家賃	46
価格・家賃	55	価格・家賃	49	広さ・間取り	40
職場への近さ	54	広さ・間取り	38	駅への近さ	32
店や施設の便利さ	16	夫の職場への近さ	29	親元への近さ	27
閑静な環境	11	親元への近さ	24	住み慣れた環境	24
友人・知人への近さ	11	店や施設の便利さ	22	夫の職場への近さ	18
		自分の職場への近さ	17	子どもの教育環境	18
		住み慣れた環境	16	店や施設の便利さ	16
		住宅の付帯設備	12	保育園や学童保育の確保	12
				自分の職場への近さ	10
				自然に恵まれた環境	10
回答者数	63	回答者数	156	回答者数	143

出典：リクルート住まいカンパニー「SUUMOなんでもランキング「街の魅力はどこで判断する？」調査結果」
※調査対象者：20～49歳の男女（有効回答数412）。インターネットによる調査。

出典：「働く女性の居住地選択と都市空間」（由井義通・若林芳樹・中澤高志・神谷浩夫）

こうした項目を念頭に、三重県ならではの「暮らす場」としての魅力向上について、以下では考えていきたい。

(1)暮らしやすい住環境

三重では、住環境にかかる費用が比較的低い。また、街には公園も多く、子育て家庭やお年寄りが「くつろぎ」の時間を過ごすことのできる環境がある。

実収入に占める住居費の割合
(都道府県別)

順位	都道府県名	住居費割合(%) [二人以上の世帯]
1	沖縄県	10.4
2	愛媛県	9
3	岡山県	8.4
4	長野県	8.2
5	秋田県	7.9
6	大阪府	7.8
7	島根県	7.8
8	東京都	7.7
9	鹿児島県	7.6
10	山口県	7.5
	全国値	6.4
42	三重県	4.9
43	福井県	4.7
44	石川県	4.6
45	滋賀県	4.6
46	群馬県	4.4
47	和歌山県	4.4

出典：独立行政法人統計センター
「地域別統計データベース」
(データは2012年のもの)

持ち家比率(都道府県別)

順位	都道府県名	持ち家比率(%)
1	秋田県	78.4
2	富山県	77.5
3	福井県	77.4
4	山形県	75.5
5	新潟県	73.9
6	岐阜県	73.9
7	三重県	73
8	島根県	73
9	和歌山県	72.8
10	奈良県	72.6
	全国値	61.1
43	神奈川県	57.2
44	福岡県	53.6
45	大阪府	53
46	沖縄県	50.2
47	東京都	44.6

出典：独立行政法人統計センター
「地域別統計データベース」
(データは2008年のもの)

持ち家の居住室数(1住宅平均)は
6.59室で、47都道府県中13位(全国平均5.8室)。
〔2008年のデータ〕

面積あたりの都市公園の数
(都道府県別)

順位	都道府県名	都市公園数 (可住地面積 100km ² 当たり)
1	東京都	551.96
2	神奈川県	481.81
3	大阪府	458.46
4	奈良県	261.91
5	福岡県	207.28
6	兵庫県	201.29
7	京都府	193.15
8	埼玉県	185.58
9	千葉県	169.92
10	愛知県	148.05
12	三重県	121.13
	全国値	82.63
43	徳島県	25.39
44	和歌山県	25.09
45	山梨県	20.69
46	秋田県	17.31
47	佐賀県	17.25

出典：独立行政法人統計センター
「地域別統計データベース」
(データは2011年のもの)



公営賃貸住宅の家賃(1か月3.3㎡当たり)は961円で47都道府県中6番目に安い。
民営賃貸住宅の家賃[同]は4,104円で26位。[いずれも2012年のデータ]

(2) 日常の買い物

日々の買い物の利便性は、確かに大都市圏には及ばない。しかし、地産地消の「産直市」など、大都市圏にはない買い物の楽しみもある。

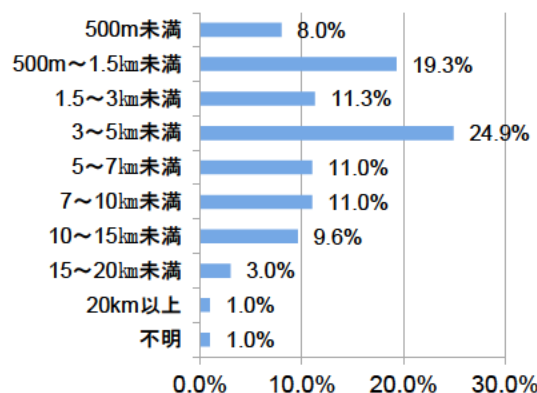
飲食料品小売店数
(都道府県別)

順位	都道府県	飲食料品 小売店数 (事業所・ 企業統計 調査結果) (人口千人 当たり)(店)
1	高知県	5.28
2	秋田県	4.95
3	長崎県	4.9
4	鹿児島県	4.89
5	島根県	4.87
6	沖縄県	4.73
7	和歌山県	4.72
8	山形県	4.67
9	大分県	4.48
10	徳島県	4.46
	全国値	3.36
34	三重県	3.25
43	滋賀県	2.9
44	愛知県	2.58
45	千葉県	2.51
46	埼玉県	2.47
47	神奈川県	2.42

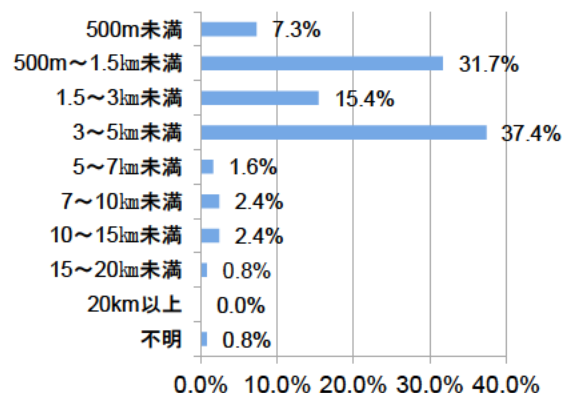
出典:独立行政法人統計センター
「地域別統計データベース」
(データは2006年のもの)

最寄りの生鮮食料品を販売している
商店までの距離(アンケート結果)

《中山間地域 (n=301)》



《都市部 (n=123)》



出典:三重県「地域密着型の商業連携
モデル検討報告書」

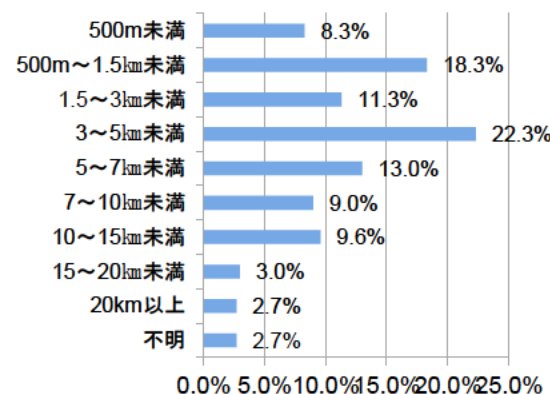
身の回り品等品小売店数
(都道府県別)

順位	都道府県	織物・衣服・ 身の回り品 小売店数 (事業所・ 企業統計 調査結果) (人口千人 当たり)(店)
1	福井県	1.87
2	富山県	1.86
3	東京都	1.68
4	高知県	1.64
5	石川県	1.63
6	京都府	1.63
7	沖縄県	1.63
8	香川県	1.6
9	岐阜県	1.58
10	和歌山県	1.58
	全国値	1.36
33	三重県	1.33
43	北海道	1.14
44	滋賀県	1.06
45	千葉県	0.99
46	神奈川県	0.95
47	埼玉県	0.88

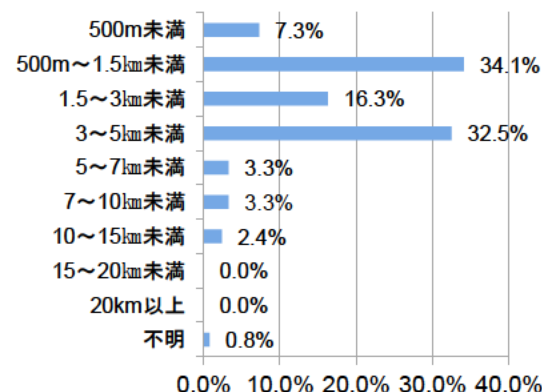
出典:独立行政法人統計センター
「地域別統計データベース」
(データは2006年のもの)

最寄りの加工食品、日用品・雑貨を
販売している商店までの距離(アンケート結果)

《中山間地域 (n=301)》



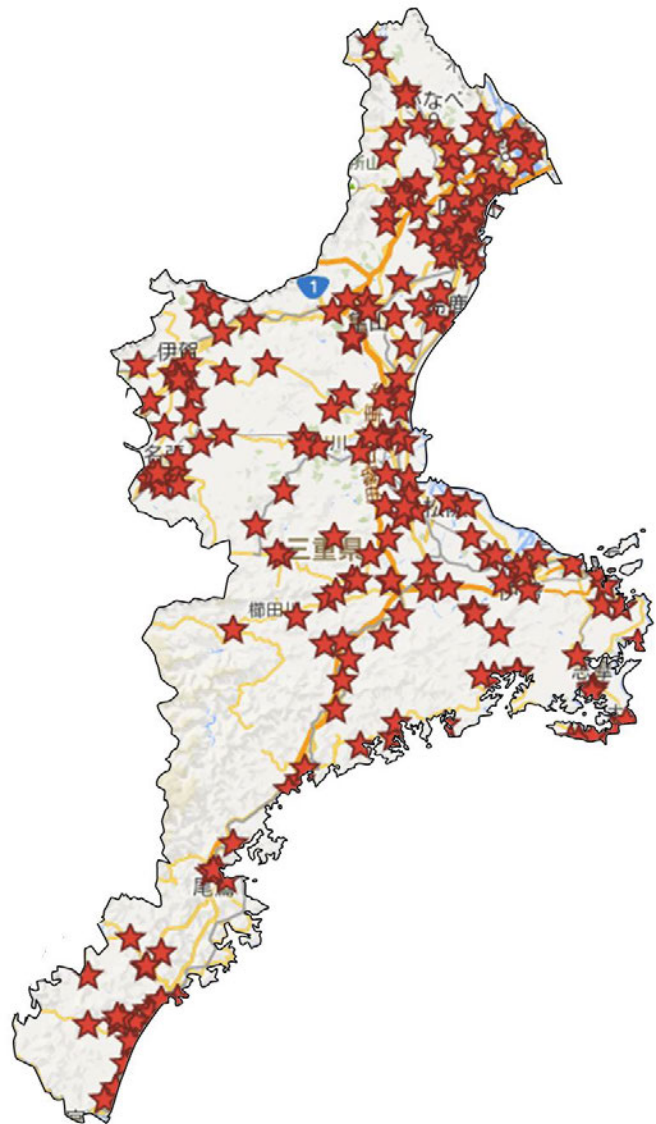
《都市部 (n=123)》



出典:三重県「地域密着型の商業連携
モデル検討報告書」

(2) 日常の買い物【続き】

三重県内の産直施設・青空市(地図上の☆印)



※三重県ウェブサイト「美し国三重の産直マップ」をもとに、事務局作成。

【関連】みえ地物一番

毎月第3日曜日とその前日は、「みえ地物一番の日」。
協賛事業者(県内177, 県外41[平成26年6月現在])のみなさんが、
それぞれの店舗で、それぞれのやり方で、
一斉に三重県産食材をクローズアップしていただいている。



平成25年度第4回三重県経営戦略会議では、田中里沙委員から、伊勢市内で活躍する一流シェフについてご発言があった。伊勢にレストランを構えるフレンチ及びイタリアンのシェフ達が、2008年に結成した「うましくに伊勢シェフクラブ」。
同クラブのシェフたちは、「地産地消を心がけ、食文化への意識向上を高める事により地域の食生活の活性化が芽生えます」(引用: 同クラブのウェブサイト)と語り、メンバーの過半数が「みえ地物一番」にも参加している。

「地方にも世界の最先端というのは結構あると思っている。伊勢のあたりには、フランス料理の一流シェフがおり、良いお店がたくさんあると聞いている。地域にいても、地元の食材と素晴らしい風土の中で腕を磨けば、世界最先端で通用するのだという意識を持つことが大事ではないか」(上述の田中委員ご意見要旨)

(3) アミューズメント、レジャー

特に若者にとって、アミューズメントやレジャーが「暮らす場」の魅力に大きく影響する。
例えば現在、統合型リゾート（IR）※をめぐる議論が活発化し、様々な検討がなされているが、三重には娯楽を楽しむ気風がある。

※IR(Integrated-Resort:統合型リゾート)＝観光及び地域経済の振興や財政の改善を目的とした、民設民営の複合型観光施設を核としたリゾート開発形態。

例:シンガポールでは、「マリーナベイ」(2010年1月開業)と「セントーサ」(同年4月開業)2つのIRが開業し、観光客数を大きく伸ばした(2009年～2011年:970万人→1,160万人→1,320万人)。

教養娯楽費割合(都道府県別)

順位	都道府県	教養娯楽費割合(%) [二人以上の世帯]
1	三重県	11.5
2	千葉県	11.3
3	東京都	11.1
4	大分県	11.1
5	愛知県	10.8
6	神奈川県	10.7
7	京都府	10.7
8	栃木県	10.6
9	滋賀県	10.6
10	埼玉県	10.4
	全国	10
43	島根県	8.5
44	沖縄県	8.5
45	長崎県	8.4
46	佐賀県	8.3
47	山形県	8.1

支出のうち、
教養娯楽費に
割く金額の割合が日本一！



出典:独立行政法人統計センター
「地域別統計データベース」
(データは2012年のもの)

三重県内観光地別 入込客数推計(平成25年)

順位	調査地点	所在 市町	平成25年 入込客数推計
1	伊勢神宮 【内宮・外宮】	伊勢市	14,204,816人
2	ナガシマリゾート (なばなの里を含む)	桑名市	7,050,000人
3	おかげ横丁	伊勢市	6,550,000人
4	二見興玉神社	伊勢市	2,657,590人
5	湯の山温泉	菰野町	2,248,070人
6	鳥羽市旅館街	鳥羽市	2,009,880人
7	鈴鹿サーキット	鈴鹿市	1,968,964人
8	椿大神社	鈴鹿市	1,455,000人
9	志摩スペイン村	志摩市	1,418,000人
10	多度大社	桑名市	1,407,000人

レジャー施設が大勢の人を集めている

アミューズメント施設(ナガシマスパーランド)・温泉・ホテル・植物園(なばなの里)・アウトレットモールからなる。米国のThemed Entertainment Associationの報告(2013年)によると、ナガシマスパーランドは世界のテーマパーク別の年間利用者数で第18位。

伊勢神宮への「おかげ参り」ブームが起こった江戸から明治期の伊勢路の建築物を、移築などで再現。

F1日本グランプリや鈴鹿8時間耐久ロードレースを開催。遊園地やホテル等が「モビリティ・リゾート」を形成。

伊勢志摩国立公園内にあり、テーマパーク、ホテル、天然温泉からなる。

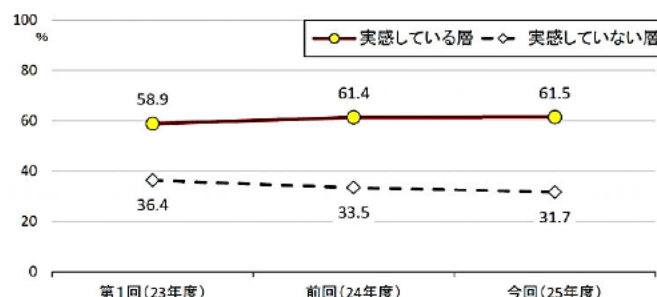
参照:三重県雇用経済部観光・国際局「平成25年観光レクリエーション入込客数推計」

IRなどの大規模なレジャー空間が呼び込むのは、第一義的には訪れて去っていく「交流人口」ではあるが、交流人口の増加が地域のブランドを高め、結果的に定住人口の増加につながるとも考えられるのではないか。

(4)安全・安心な暮らし

これまでに3回実施している「みえ県民意識調査」の結果によると、「犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている」と実感している県民の割合は少しずつ高まり、県全体で6割を超えている。

「犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている」と実感する
三重県民の割合の推移(みえ県民意識調査)



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

出典:「第3回 みえ県民意識調査 報告書」



交通事故発生件数(都道府県別)

順位	都道府県名	交通事故発生件数(件) (道路実延長千km当たり)
1	大阪府	2,577.50
2	東京都	2,143.40
3	神奈川県	1,531.20
4	福岡県	1,168.60
5	香川県	1,104.20
6	静岡県	1,022.70
7	愛知県	1,008.50
8	兵庫県	1,006.20
9	京都府	916.4
10	佐賀県	868
	全国値	574.4
26	三重県	418.4
43	鳥取県	190.9
44	北海道	183.6
45	秋田県	126.9
46	岩手県	113.7
47	島根県	103

刑法犯認知件数(都道府県別)

順位	都道府県名	刑法犯認知件数(件) (人口千人当たり)
1	大阪府	17.52
2	愛知県	16.04
3	福岡県	14.46
4	京都府	14.37
5	東京都	14.13
6	埼玉県	13.91
7	兵庫県	13.71
8	千葉県	13.36
9	茨城県	13
10	岡山県	12.3
12	三重県	12.03
	全国値	11.59
43	青森県	6.12
44	長崎県	5.99
45	山形県	5.54
46	岩手県	4.83
47	秋田県	4.12

出典:独立行政法人統計センター「地域別統計データベース」(データはいずれも2011年のもの)

防災に関しては、県民の「防災意識」を「防災行動」に結び付け、防災活動が日常の生活や事業活動と一体化した《防災の日常化》をめざして、例えば「三重県・三重大学 みえ防災・減災センター」を設置し、市町や企業、県内他大学等と連携しながら、防災人材の育成・活用及び交流、地域・企業支援、情報の収集と発信、調査研究等に取り組んでいこうとしている。

(5) 自然の中での子育て

自然体験が子どもの成長に与える好影響は計り知れない。三重には、子どもの自然体験の
リソース＝豊かな自然がある。

子どもの頃

海や川で貝を採ったり、魚を釣ったりしたこと

夜空いっぱい輝く星をゆっくりみたこと

強い相関関係！



大人の自分

なんでも最後までやり遂げたい

もっと深く学んでみたいことがある

「子どもの頃、自然体験が豊富な人ほど、大人になって『最後までやり遂げたい』という意思が強く、『もっと深く学びたい』といった意欲も強い。」（独立行政法人国立青少年教育振興機構調査）

自然公園の面積(都道府県別)

順位	都道府県名	自然公園面積(ha)
1	北海道	867,561
2	新潟県	316,891
3	長野県	278,548
4	三重県	201,896
5	岐阜県	195,093
6	福島県	179,096
7	大分県	174,849
8	宮城県	171,199
9	兵庫県	166,015
10	山形県	155,810
43	千葉県	28,537
44	佐賀県	26,884
45	京都府	25,738
46	香川県	20,534
47	大阪府	20,039

順位	都道府県名	自然公園面積割合(%)
1	滋賀県	37.3
2	東京都	36.5
3	三重県	34.9
4	埼玉県	32.8
5	富山県	29.6
6	大分県	27.6
7	山梨県	27.1
8	新潟県	25.2
9	宮城県	23.5
10	神奈川県	22.8
43	島根県	6
44	京都府	5.6
45	千葉県	5.5
46	岩手県	4.7
47	広島県	4.5

子どもの自然体験・・・父親など男性の出番



親目線の家事・育児分担である「イクメン」だけでなく、子どもの成長を重視した男性の育児参画を「育児男子」と位置付け、「みえの育児男子」プロジェクトと銘打って様々な取組を推進。

(5) 自然の中での子育て【続き】

三重県内における子どもの自然体験の一例

大杉谷自然学校の「森のようちえん」

大杉谷(三重県多気郡大台町)をフィールドに環境教育プログラムの提供を行うNPO法人「大杉谷自然学校」が、幼児とその家族を対象に、「ちびっこ自然体験プログラム『森のようちえん』」を実施している。

1) 春はほかほか森あそび

【日程】 4月26日(土)
春の森に、食べられる野草や、花や、動きだした生き物を見つけに行こう。

2) 雨のきせつもそとあそび

【日程】 6月14日(土)
雨の季節がやってきた！カエルやカニがたくさん動き出すよ！谷の水はまだ少し冷たいかも。

3) 夏のおわりも森あそび

【日程】 9月13日(土)
残暑の頃はヒンヤリした木陰と水辺の空気が気持ちいいね。緑の濃い森の中を探検しよう。

4) 秋をさがしに森あそび

【日程】 10月4日(土)
風が冷たくなってきたら、森の落ち葉や枝を集めて焚火をしよう。キノコ探しも楽しいね。

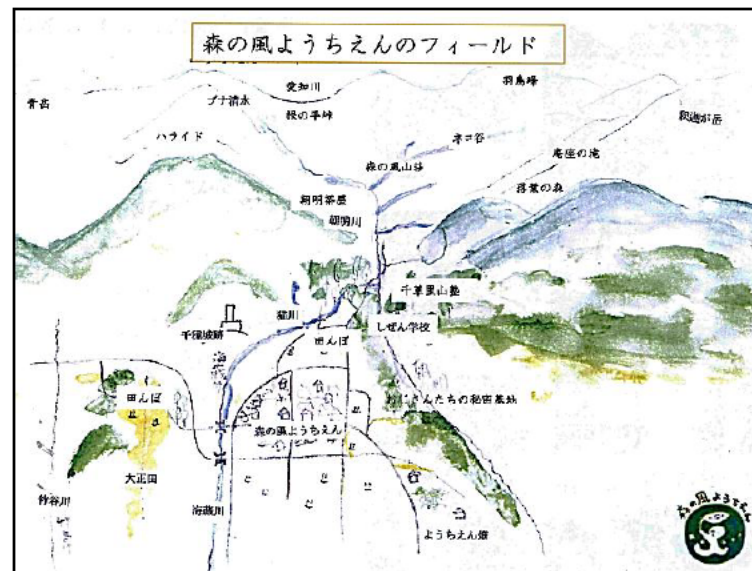
5) 宮川の里山あそび

【日程】 11月1日(土)
子ども王国を離れ、宮川上流の里山へ遊びに行きます！秋は木の実拾いと落葉遊びがいいね。

大杉谷は、吉野熊野国立公園内にある峡谷。黒部峡(富山県)、清津峡(新潟県)とともに、「日本三大峡谷」と称される。登山道は平成十六年の台風被害から復旧し、今年4月、十年ぶりに全線開通した。

菰野町にある“幼児園”「森の風ようちえん」

菰野町にある「森の風ようちえん」では、耕作や山登りなど、子どもたちに自然の中での体験をさせている。認可外であることから保護者の費用負担は私立幼稚園等よりも大きい。同園作成の資料によると、入園希望のキャンセル待ちも発生しているという。



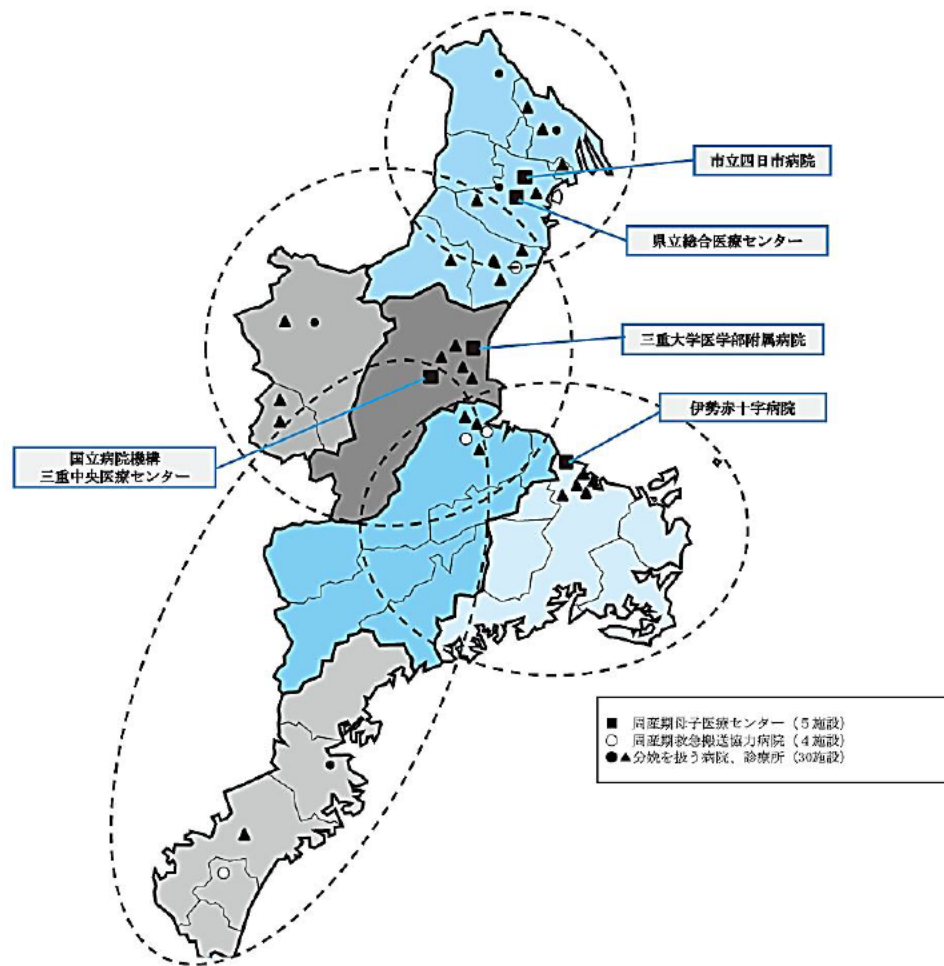
引用:「森の風ようちえん」広報資料

1950年代にデンマークで発祥した「森のようちえん」(自然体験活動を軸とする保育や乳幼児教育)が、全国的に注目を集めている。
⇒豊かな自然の中での子どもの育ちを望む保護者が増えている。

(6) 周産期医療、保育、高齢者介護の体制

県では、市町や大学等と連携して、周産期医療、保育、高齢者介護等の充実に取り組んでいる。

県内の周産期医療体制



保育所の定員等（三重県と近隣府県・人口規模近似の府県）

府県	保育所数	定員	利用児童数	定員充足率	待機児童数
	か所	人	人	%	人
三重	428	41,424	38,549	93.1%	27
【近隣府県】					
岐阜県	375	41,471	34,707	83.7%	8
愛知県	744	94,837	78,604	82.9%	135
滋賀県	210	22,364	21,811	97.5%	269
京都府	230	26,608	24,505	92.1%	15
大阪府	592	64,607	66,987	103.7%	681
奈良県	153	18,892	17,185	91.0%	110
和歌山県	153	16,145	13,577	84.1%	7
【人口規模近似の府県】					
栃木県	279	24,087	23,648	98.2%	23
群馬県	276	28,405	28,620	100.8%	8
岡山県	200	16,886	15,965	94.5%	20
熊本県	435	31,929	32,922	103.1%	402
鹿児島県	369	24,354	26,244	107.8%	156
都道府県計	17,098	1,582,785	1,504,208	95.0%	16,167

出典：厚生労働省「保育所関連状況取りまとめ（平成25年4月1日）」

※数値には政令指定都市・中核市を含まない。



(6) 周産期医療、保育、高齢者介護の体制【続き】

介護老人**保健**施設の定員等
(三重県と近隣府県・人口規模近似の府県)

府県	施設数(所)	定員数(人)	在所者数(人)	定員充足率
三重県	63	5,882	5,464	92.9%
【近隣府県】				
岐阜県	64	5,952	5,366	90.2%
愛知県	156	15,849	14,623	92.3%
滋賀県	29	2,434	2,177	89.4%
京都府	60	5,919	5,430	91.7%
大阪府	173	16,408	15,109	92.1%
奈良県	36	3,215	2,903	90.3%
和歌山県	38	3,149	2,947	93.6%
【人口規模近似の府県】				
栃木県	60	5,298	4,948	93.4%
群馬県	78	5,886	5,340	90.7%
岡山県	77	6,131	5,684	92.7%
熊本県	85	6,077	5,540	91.2%
鹿児島県	74	5,619	5,142	91.5%

介護老人**福祉**施設の定員等
(三重県と近隣府県・人口規模近似の府県)

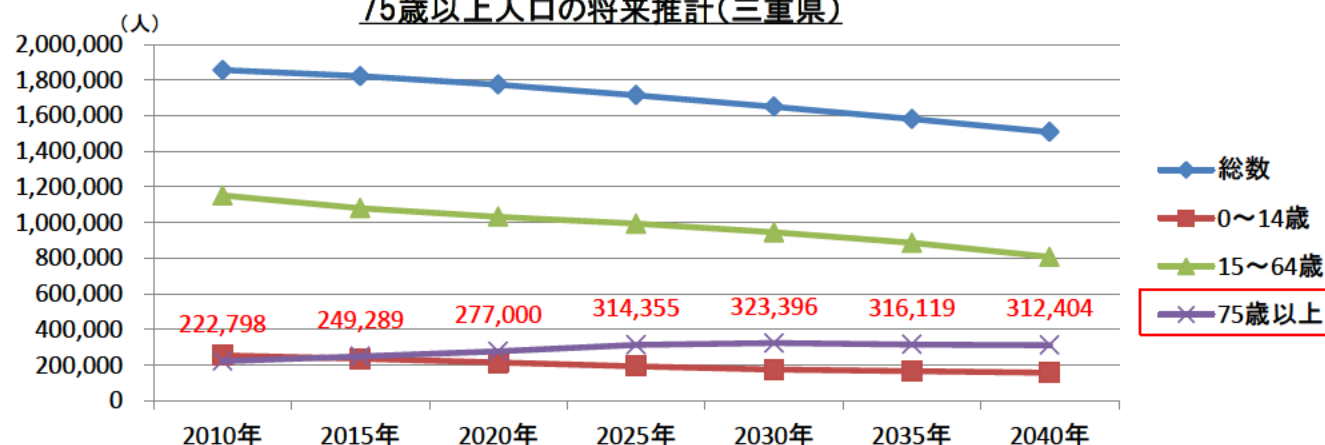
府県	施設数(所)	定員数(人)	在所者数(人)	定員充足率
三重県	105	6,533	6,397	97.9%
【近隣府県】				
岐阜県	103	7,818	7,726	98.8%
愛知県	197	17,410	17,208	98.8%
滋賀県	61	4,189	4,132	98.6%
京都府	132	9,171	9,079	99.0%
大阪府	328	25,383	25,006	98.5%
奈良県	69	5,191	5,109	98.4%
和歌山県	74	4,766	4,627	97.1%
【人口規模近似の府県】				
栃木県	103	5,892	5,862	99.5%
群馬県	121	7,637	7,485	98.0%
岡山県	116	7,994	7,911	99.0%
熊本県	114	7,303	7,143	97.8%
鹿児島県	137	8,692	8,479	97.5%

出典:独立行政法人統計センター「地域別統計データベース」(データはいずれも2011年のもの)

※介護老人保健施設＝介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために、ケア、リハビリテーション、日常サービス等を併せて提供する施設。

介護老人福祉施設＝心身の障害で在宅生活が困難な高齢者の日常生活を介護する施設。特別養護老人ホームと通称される。

75歳以上人口の将来推計(三重県)



(7) 居住とお金

三重県には安心安全で美味しい食材がたくさんあるが、統計上、食料費の負担は低い。そうしたこともあってか、都道府県の中で比較すると、金銭的な余裕もみられる。

東京を100としたときの消費者物価
[食料]指数(都道府県別)

順位	都道府県	消費者物価 地域差指数 [食料] [東京都区部=100]
1	神奈川県	100.6
2	東京都	100
3	石川県	98.9
4	大阪府	98.7
5	京都府	98.4
6	愛知県	98.2
7	岡山県	98.1
8	和歌山県	98
9	福井県	97.9
10	静岡県	97.9
29	三重県	94.5
43	宮崎県	91.4
44	茨城県	91.2
45	長野県	90.4
46	宮城県	90.2
47	秋田県	88.3

支出に占める食料費の割合
(都道府県別)

順位	都道府県	食料費割合(%) [二人以上の世帯]
1	愛知県	27.2
2	京都府	26.9
3	千葉県	26.2
4	滋賀県	25.8
5	和歌山県	25.8
6	兵庫県	25.7
7	大阪府	25.4
8	東京都	25.1
9	山梨県	25.1
10	岩手県	24.7
	全国値	23.5
37	三重県	22
43	徳島県	21.3
44	香川県	21.2
45	鹿児島県	20.8
46	大分県	20.6
47	栃木県	20.4



東京都区部に比べると食料物価は安い。
理由はそれだけではないが、支出に占める食料費の割合も低い。

【県外から移住した人々の声】

「土地も安く食べ物にも困りません。
野菜も新鮮でおいしい。
特にみかんの味が都会で食べた物と
全然違い、びっくりです。」
(御浜町への移住者)

「食で言えば海に行けば新鮮な魚や
アワビ、サザエ、伊勢エビ、
山に行けば松阪牛に松茸。
こんなに贅沢で美味しい食材がそろふ
地域はないと思います。」
(志摩市への移住者)

「玄関先で魚をさばいているところを
観光客が通りかかり、「美味しそう
ですね。」なんて言葉をかけられたら、
刺身にして食べさせてあげるような
地域です。」
(鳥羽市・答志島への移住者)

《引用：三重の移住・交流ポータルサイト
「ええとこやんか三重」》

住宅地平均価格 (都道府県別)

順位	都道府県	住宅地 平均価格 (円/㎡)
1	東京	309,700
2	神奈川	169,900
3	大阪	145,900
4	埼玉	103,400
5	京都	101,700
6	兵庫	99,600
7	愛知	95,800
8	千葉	70,300
9	静岡	67,500
10	奈良	52,600
12	滋賀	46,200
17	和歌山	36,200
19	岐阜	34,200
23	三重	32,300
43	福島	20,500
44	山形	19,500
45	北海道	18,100
46	青森	17,700
47	秋田	15,300

出典：国土交通省
「平成25年都道府県地価調査」

(7) 居住とお金【続き】

平均年収〔全世帯／勤労者世帯〕(都道府県別)

順位	都道府県	年間収入 平均(万円) (全世帯)
1	福井県	830
2	富山県	800
3	東京都	780
4	愛知県	764
5	神奈川県	757
6	栃木県	753
7	新潟県	741
8	石川県	741
9	静岡県	736
10	岐阜県	735
11	三重県	735
	全国値	693
43	青森県	590
44	長崎県	586
45	鹿児島県	583
46	大分県	581
47	沖縄県	452

順位	都道府県	年間収入 平均(万円) (勤労者世帯)
1	福井県	871
2	東京都	837
3	三重県	808
4	富山県	806
5	岐阜県	800
6	滋賀県	797
7	栃木県	795
8	茨城県	793
9	山形県	792
10	石川県	788
	全国値	740
43	北海道	646
44	長崎県	646
45	青森県	623
46	宮崎県	618
47	沖縄県	500

年収のジニ係数(都道府県別)

順位	都道府県	年間収入の ジニ係数 (二人以上 の世帯)
1	沖縄県	0.339
2	大阪府	0.336
3	徳島県	0.334
4	長崎県	0.331
5	宮城県	0.32
6	福島県	0.32
7	福岡県	0.316
8	福井県	0.313
9	高知県	0.313
10	大分県	0.312
	全国値	0.311
43	石川県	0.287
44	山口県	0.284
45	三重県	0.282
46	北海道	0.281
47	京都府	0.274

貯蓄
(二人以上世帯、都道府県庁所在地別)

順位	都道府県	貯蓄[万円] (二人以上世帯)
1	三重県	2,324
2	群馬県	2,280
3	兵庫県	2,233
4	静岡県	2,177
5	東京都	2,068
6	京都府	2,060
7	滋賀県	2,044
8	奈良県	1,993
9	香川県	1,965
10	岐阜県	1,942
	全国	1,658
43	秋田県	1,137
44	山形県	1,134
45	鹿児島県	1,118
46	青森県	939
47	沖縄県	763

出典(左から3つ): 独立行政法人統計センター「地域別統計データベース」(データはいずれも2012年のもの)

出典: 総務省「家計調査年報(平成24年)」
※値は各都道府県の県庁所在地のもの。

平均年収は比較的高い。

かつ、平等性は比較的高い。

世帯の貯蓄現在高も高い。

※ジニ係数＝所得分配の不平等さを測る指標。
値が0に近いほど格差が小さい。



(8) 高度外国人材にアピールするために

少子高齢化や経済のグローバル化が進展する中、県の経済活力と潜在成長力を高めるため、国内人材の最大限の活用はもとより、高度外国人材※の持つ多彩な価値観、経験、ノウハウ、技術の積極的な活用が重要な課題であると考えられる。

※「高度外国人材」の想定＝企業での職種でみると、研究者やエンジニア等の専門職、海外進出等を担当する営業職、法務・会計等の専門職、経営に関わる役員や管理職を担うべき者。教育レベルでみると、日本国内及び海外の大学・大学院以上の最終学歴を有する者。在留資格でみると、「研究（企業内の研究職）」、「技術（機械工学等の技術者、SE等のエンジニア）」、「人文知識・国際業務（企画、営業、経理等の事務職、企業内通訳等）」、「投資・経営」、「法律・会計業務」、「企業内転勤」等のいわゆる「専門的・技術的分野」の者。

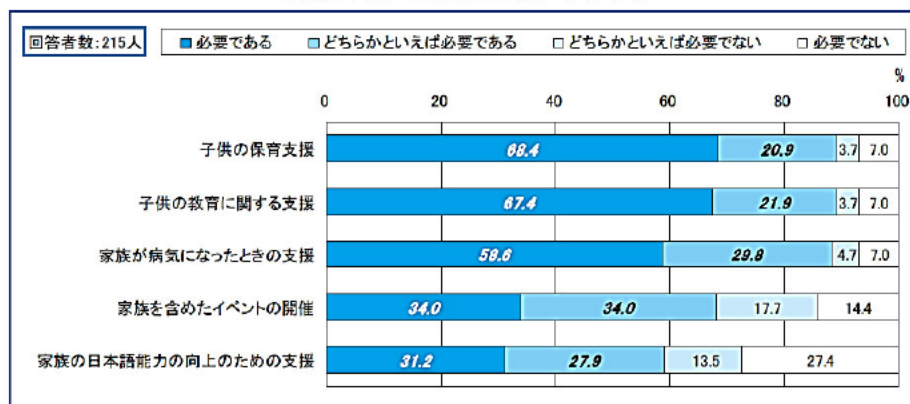
【参照：厚生労働省委託「高度外国人材活用のための実践マニュアル」】

高度外国人材の県内での活躍を促すため、まずは、「暮らす場」としての魅力を感じてもらう前提となる環境整備が求められる。
上記「マニュアル」（平成23年2月版）では、以下のようなサポートが必要だとしている。

【安心して働ける生活環境の整備】

- (1) 住居を借りるときの支援・・・例えば家賃保証サービスなどの仕組みについての助言。
- (2) 家族に対する支援・・・高度外国人材の多くが、家族が病気になったときの支援、子どもの保育・教育に対する支援を希望している（下グラフ）。
- (3) 宗教や食文化など異文化への理解

家族に対する必要な支援（外国人）



（高度外国人材アンケート調査結果）

引用：厚生労働省「高度外国人材活用のための実践マニュアル」（平成23年2月）

高度外国人材の呼び込みのためには、
このような環境整備があったうえで、
「暮らす場としての魅力」によって
惹きつけていくことが求められる。